

---

# キヤノン株式会社

## 2018年12月期 決算説明会

2019年1月30日

代表取締役副社長 CFO 田中 稔三

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# 目次

---

■ 2018年実績	P 2~4
■ 2019年見通し	P 5~8
■ 事業別詳細 (2018年実績/2019年見通し)	P9~17
■ 財務状況	P18~19
■ 参考資料	P20~34

---

## 全社では減収となるも、2期連続の増益を達成

### 売上面では

- カメラと蒸着装置が市況変化の影響を受け減収
- オフィスは着実に増収を達成
- メディカル、ネットワークカメラなどの新規事業は引き続き成長

### 利益面では

- プロダクトミックスとコストダウンによる売上総利益率改善
- グループを挙げた経費改善努力

# 2018年 全社PL(年間)

- 対前年：営業利益、純利益ともに増益を達成
- 対前回：売上は下回るも、徹底した経費管理により利益は計画水準を上回る

組替え影響額の符号は利益表示となっております

(億円)	2018年				2017年			組替前比較	2018年	組替後比較
	年間実績	サービス 組替影響	年金 組替影響	年間実績 (組替前)	年間実績	年金 組替影響	年間実績 (組替前)	対前年	年間前回見直し	対前回
売上高	39,519	0	0	39,519	40,800	0	40,800	-3.1%	40,000	-481
売上総利益 (売上総利益率)	18,356 46.4%	-1,157	-29	19,542 49.4%	19,906 48.8%	-21	19,927 48.8%	-1.9%	18,515 46.3%	-159
経費	14,926	+1,157	-137	15,946	16,690	-78	16,612		15,160	
営業利益 (営業利益率)	3,430 8.7%	0	-166	3,596 9.1%	3,216 7.9%	-99	3,315 8.1%	+8.5%	3,355 8.4%	+75
営業外損益	199	0	+166	33	323	+99	224		295	
税引前利益	3,629	0	0	3,629	3,539	0	3,539	+2.5%	3,650	-21
純利益 (純利益率)	2,528 6.4%	0	0	2,528 6.4%	2,419 5.9%	0	2,419 5.9%	+4.5%	2,510 6.3%	+18
USD	110.43			110.43	112.13		112.13		109.66	
EURO	130.29			130.29	126.69		126.69		130.64	

※1 2018年はサービス収入の原価と経費の組替えを行っています

※2 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 2018年 セグメント別PL(年間)

- オフィス、メディカル、産業機器その他は増収増益
- イメージングシステムは市場縮小の影響を受けて減収減益

(億円)		2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 前回見通し	対前回
オフィス	売上高	18,073	18,048	+0.1%	18,180	-107
	営業利益	2,208	1,893	+16.7%	2,183	+25
イメージングシステム	売上高	10,082	11,362	-11.3%	10,400	-318
	営業利益	1,170	1,735	-32.6%	1,228	-58
メディカルシステム	売上高	4,376	4,362	+0.3%	4,430	-54
	営業利益	288	219	+31.4%	263	+25
産業機器その他	売上高	8,052	7,928	+1.6%	8,070	-18
	営業利益	655	407	+60.9%	590	+65
全社消去	売上高	-1,064	-900	-	-1,080	+16
	営業利益	-891	-1,038	-	-909	+18
連結合計	売上高	39,519	40,800	-3.1%	40,000	-481
	営業利益	3,430	3,216	+6.6%	3,355	+75

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィスのアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています  
(2017年実績：売上 611億円、営業利益 -147億円)

# 2019年見通しのポイント

## 【為替前提】

19年年間の為替影響額  
(1円の変動による影響)

平均為替レート	18年年間	19年年間	売上	営業利益
USD/円	110.43円	105.00円	132億円	44億円
EUR/円	130.29円	125.00円	61億円	30億円

## 【外部環境】

- 世界経済は、米国が引き続き牽引役となるも、米中貿易摩擦の激化や欧州政治の混迷など、先行きには高い不透明感

## 【2019年見通し】

### 厳しい環境を踏まえ、収益力を再強化する年

- 現行事業での成長領域や、新規事業への効率的な販売投資による売上最大化
- 経費の選択と集中、自動化や内製化を進め、収益力強化

# 2019年 全社PL(年間)

- 為替の悪化影響を織り込み、減収減益の見通し
- 原価低減や徹底した経費コントロールなど、体質強化に取り組む

(億円)	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
売上高	39,000	39,519	-1.3%
売上総利益 (売上総利益率)	17,590 45.1%	18,356 46.4%	-4.2%
経費	14,340	14,926	
営業利益 (営業利益率)	3,250 8.3%	3,430 8.7%	-5.2%
営業外損益	225	199	
税引前利益	3,475	3,629	-4.2%
純利益 (純利益率)	2,400 6.2%	2,528 6.4%	-5.0%
USD	105.00	110.43	
EURO	125.00	130.29	

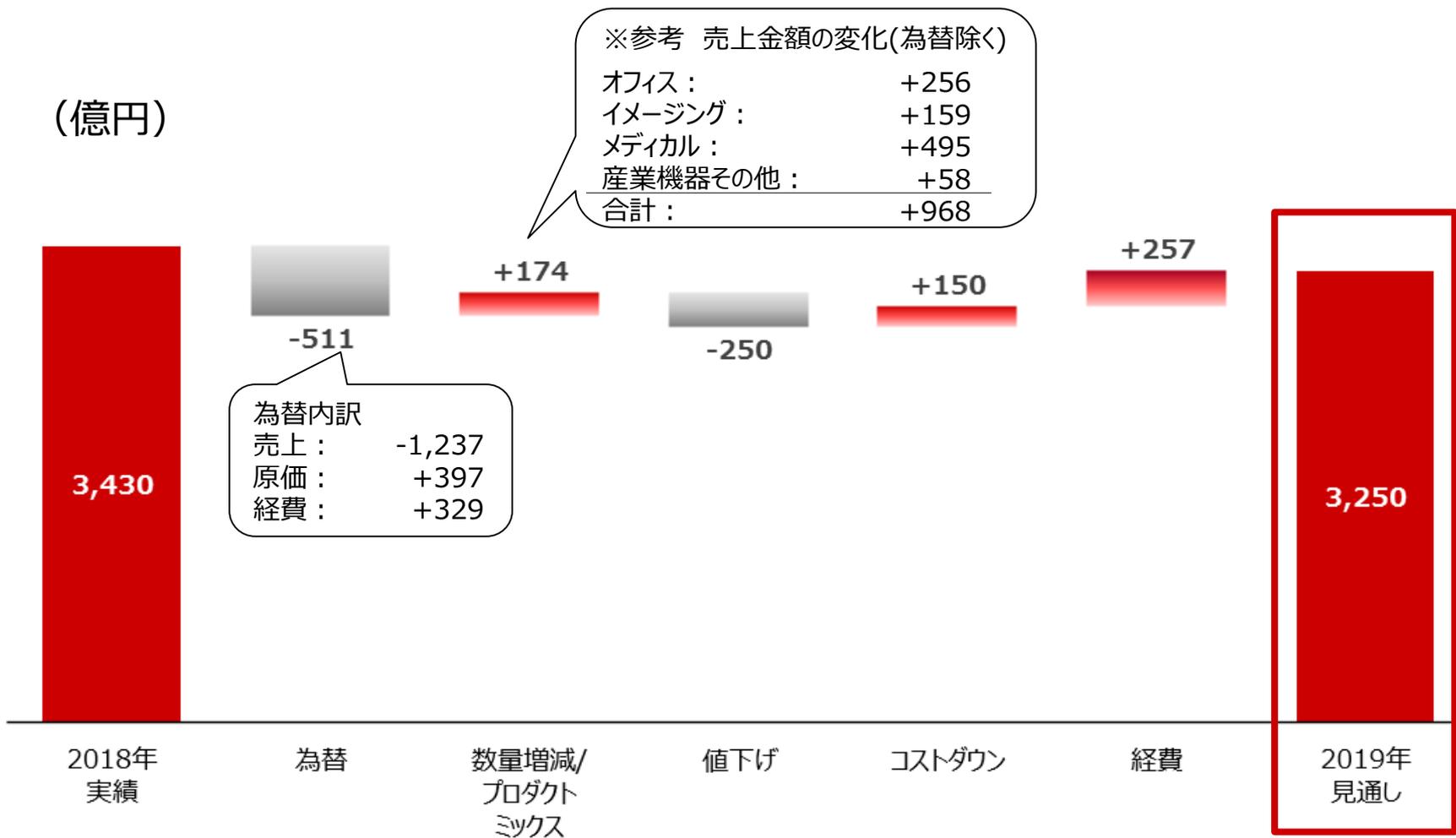
# 2019年 セグメント別PL (年間)

- イメージングシステム：市場の縮小影響を受けるも、成長分野での拡販と原価低減活動を進める
- メディカル：新製品の本格寄与と、海外での販売投資により増収増益
- 産業機器その他：調整局面が続くも、将来に向けた収益性改善努力の継続

(億円)		2019年 見通し	2018年 実績	対前年
オフィス	売上高	17,640	18,073	-2.4%
	営業利益	2,125	2,208	-3.8%
イメージングシステム	売上高	9,690	10,082	-3.9%
	営業利益	1,020	1,170	-12.8%
メディカルシステム	売上高	4,770	4,376	+9.0%
	営業利益	350	288	+21.4%
産業機器その他	売上高	8,045	8,052	-0.1%
	営業利益	480	655	-26.8%
全社消去	売上高	-1,145	-1,064	-
	営業利益	-725	-891	-
連結合計	売上高	39,000	39,519	-1.3%
	営業利益	3,250	3,430	-5.2%

# 営業利益分析(年間)対前年

- オフィスとメディカルを中心に、売上を伸ばす
- メリハリの利いた販売投資により、値下げは前年以下に抑制



# オフィス（複合機）

- 2018年はクラウド連携機能を装備したカラー機の販売が好調に推移
- 2019年はセキュリティ機能を大幅に強化した新製品で販売を伸ばす
- カラー機MIFの増加により、サービス収入の安定化を図る

(億円)

	年間					年間		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
複合機	6,843	6,940	-1.4%	6,967	-124	6,752	6,843	-1.3%
LP	7,065	7,067	-0.0%	7,053	+12	6,644	7,065	-6.0%
その他	4,165	4,041	+3.1%	4,160	+5	4,244	4,165	+1.9%
売上高計	18,073	18,048	+0.1%	18,180	-107	17,640	18,073	-2.4%
営業利益	2,208	1,893	+16.7%	2,183	+25	2,125	2,208	-3.8%
%	12.2%	10.5%		12.0%		12.0%	12.2%	

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 実績	2019年 見通し
複合機	-1.6%	+2.1%
LP	+0.1%	-2.5%
その他	+2.8%	+4.9%
合計	+0.1%	+1.0%

## ■ 台数伸び率

	2018年 実績	2019年 見通し
複合機		
モノクロ	-3%	0%
カラー	+6%	+7%
合計	+2%	+4%

## 『imageRUNNER ADVANCE 第3世代 3rd Edition』



- ・従来機の高信頼性を継承
- ・セキュリティ機能強化
- ・クラウドサービス連携強化

# オフィス（レーザープリンター）

- 2018年は新製品効果により本体販売増
- 2019年は本体のプログラムミックス改善と消耗品販売増への取組み強化

(億円)

	年間					年間		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
複合機	6,843	6,940	-1.4%	6,967	-124	6,752	6,843	-1.3%
LP	7,065	7,067	-0.0%	7,053	+12	6,644	7,065	-6.0%
その他	4,165	4,041	+3.1%	4,160	+5	4,244	4,165	+1.9%
売上高計	18,073	18,048	+0.1%	18,180	-107	17,640	18,073	-2.4%
営業利益	2,208	1,893	+16.7%	2,183	+25	2,125	2,208	-3.8%
%	12.2%	10.5%		12.0%		12.0%	12.2%	

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率

	2018年 実績	2019年 見通し	L P	2018年 実績	2019年 見通し
	複合機	-1.6%		+2.1%	モノクロ
LP	+0.1%	-2.5%	カラー	+7%	+5%
その他	+2.8%	+4.9%	合計	+6%	-2%
合計	+0.1%	+1.0%			

# オフィス（その他）

- グラフィックアーツ向け製品が顧客から高い評価を受け、堅調に推移
- パッケージ市場への本格参入と販売体制の強化により、増収を狙う

(億円)

	年間					年間		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
複合機	6,843	6,940	-1.4%	6,967	-124	6,752	6,843	-1.3%
LP	7,065	7,067	-0.0%	7,053	+12	6,644	7,065	-6.0%
その他	4,165	4,041	+3.1%	4,160	+5	4,244	4,165	+1.9%
売上高計	18,073	18,048	+0.1%	18,180	-107	17,640	18,073	-2.4%
営業利益	2,208	1,893	+16.7%	2,183	+25	2,125	2,208	-3.8%
%	12.2%	10.5%		12.0%		12.0%	12.2%	

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 実績	2019年 見通し
複合機	-1.6%	+2.1%
LP	+0.1%	-2.5%
その他	+2.8%	+4.9%
合計	+0.1%	+1.0%



## 将来の事業の安定化に向けた『種まき』を進める

### ■ ミラーレス市場でのプレゼンス向上

- EOS Rシステムを核に製品ラインアップを拡充
- 新製品開発のスピードを加速



『EOS Rシステム』

### ■ 収益力の向上

- フルサイズモデルの構成比率を向上
- 採算性の高いレンズの拡販
- 自動化の対象範囲を拡大

## 新ジャンルカメラ



- 防水/耐衝撃性能とデザイン性を備えた**若者向けカメラ**
- スマートフォンだけでは対応しづらいアウトドアシーンに最適



- AIを搭載した**自動撮影カメラ**
- 様々なシーンで決定的な瞬間を捉える

## イメージング市場の裾野の拡大を図る

# イメージングシステム (カメラ)

- レンズ交換式カメラ、コンパクトカメラともに2019年は市場並みの縮小幅を見込むが、プロダクトミックスの改善を図る

(億円)

	年間					年間		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
カメラ	5,999	7,028	-14.6%	6,231	-232	5,628	5,999	-6.2%
インクジェット	3,202	3,356	-4.6%	3,251	-49	3,147	3,202	-1.7%
その他	881	978	-10.1%	918	-37	915	881	+3.9%
売上高計	10,082	11,362	-11.3%	10,400	-318	9,690	10,082	-3.9%
営業利益	1,170	1,735	-32.6%	1,228	-58	1,020	1,170	-12.8%
%	11.6%	15.3%		11.8%		10.5%	11.6%	

※ 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率 (単位: 万台)

## フルサイズミラーレス

『EOS R』



	2018年 実績	2019年 見通し		2018年実績		2019年見通し	
				台数	伸び率	台数	伸び率
カメラ	-14.7%	-2.2%	レンズ交換式	504	-9%	470	-7%
インクジェット	-4.7%	+1.7%	コンパクト	317	-22%	260	-18%
合計	-11.3%	-0.1%					

# イメージングシステム（インクジェット）

- 2018年は販売台数減となるも、大容量インクモデルは好調に推移
- 2019年は販売投資を積極的に行い、市場を上回る成長を目指す

(億円)

	年間					年間		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
カメラ	5,999	7,028	-14.6%	6,231	-232	5,628	5,999	-6.2%
インクジェット	3,202	3,356	-4.6%	3,251	-49	3,147	3,202	-1.7%
その他	881	978	-10.1%	918	-37	915	881	+3.9%
売上高計	10,082	11,362	-11.3%	10,400	-318	9,690	10,082	-3.9%
営業利益	1,170	1,735	-32.6%	1,228	-58	1,020	1,170	-12.8%
%	11.6%	15.3%		11.8%		10.5%	11.6%	

※ 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

## ■ 台数伸び率

	2018年 実績	2019年 見通し
カメラ	-14.7%	-2.2%
インクジェット	-4.7%	+1.7%
合計	-11.3%	-0.1%

	2018年 実績	2019年 見通し
インクジェット	-2%	+2%



## ビジネス向け インクジェット複合機

- ・毎分50枚の高速出力
- ・ユーザーのトータルコスト削減

# メディカルシステム

- 2018年はこれまで投入してきた新製品が好調に推移し、増収増益
- 新製品が本格寄与する2019年は販売体制も強化し、大きく伸長
- グループシナジー強化により原価低減を進め、収益性向上

(億円)

	年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
売上高計	4,376	4,362	+0.3%	4,430	-54
営業利益	288	219	+31.4%	263	+25
%	6.6%	5.0%		5.9%	

年間		
2019年 見通し	2018年 実績	対前年
4,770	4,376	+9.0%
350	288	+21.4%
7.3%	6.6%	

※ 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 実績	2019年 見通し
合計	+0.7%	+11.3%



超音波診断装置  
『Aplio a』シリーズ



CT装置  
『Aquilion START』

# 産業機器その他

- 2018年は半導体露光装置がメモリ需要を捉えて大きく伸長
- 2019年は半導体・FPD露光装置ともに顧客要望を捉え、シェアを拡大
- ネットワークカメラはラインアップを強化し2019年も2桁成長を目指す

(億円)

	年間				
	2018年 実績	2017年 実績	対前年	2018年 (前回)	対前回
露光装置	1,998	1,931	+3.4%	2,034	-36
その他	6,054	5,997	+1.0%	6,036	+18
売上高計	8,052	7,928	+1.6%	8,070	-18
営業利益	655	407	+60.9%	590	+65
%	8.1%	5.1%		7.3%	

	年間		
	2019年 見通し	2018年 実績	対前年
露光装置	2,045	1,998	+2.4%
その他	6,000	6,054	-0.9%
売上高計	8,045	8,052	-0.1%
営業利益	480	655	-26.8%
%	6.0%	8.1%	

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

## ■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2018年 実績	2019年 見通し
露光装置	+3.4%	+3.1%
その他	+0.9%	+1.3%
合計	+1.5%	+1.7%

## ■ 露光装置台数 (単位：台)

	2017年 実績	2018年 実績	2019年 見通し
半導体	70	114	121
FPD	84	69	56

# 在庫の状況

- イメージングは外部環境の影響により在庫増
- オフィスとメディカルは前年並みの適正水準を維持

(金額：億円)

		2017年				2018年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
オフィス	金額	2,069	2,111	2,224	2,051	2,075	2,099	2,246	2,061
	日数	42	43	46	41	41	42	46	42
イメージングシステム	金額	1,427	1,488	1,636	1,304	1,519	1,566	1,861	1,511
	日数	46	52	54	39	49	59	69	52
メディカルシステム	金額	-	805	766	836	804	860	893	906
	日数	-	67	70	71	66	74	80	73
産業機器その他	金額	2,195	1,564	1,584	1,509	1,487	1,469	1,604	1,635
	日数	82	85	83	72	72	73	84	90
合計	金額	<b>5,691</b>	<b>5,968</b>	<b>6,210</b>	<b>5,700</b>	<b>5,885</b>	<b>5,994</b>	<b>6,604</b>	<b>6,113</b>
	日数	<b>54</b>	<b>55</b>	<b>57</b>	<b>49</b>	<b>52</b>	<b>56</b>	<b>62</b>	<b>56</b>

※ ビジネス形態の変化に伴い、オフィスのアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

# キャッシュフロー(年間)

## ■ キャッシュフロー経営の徹底

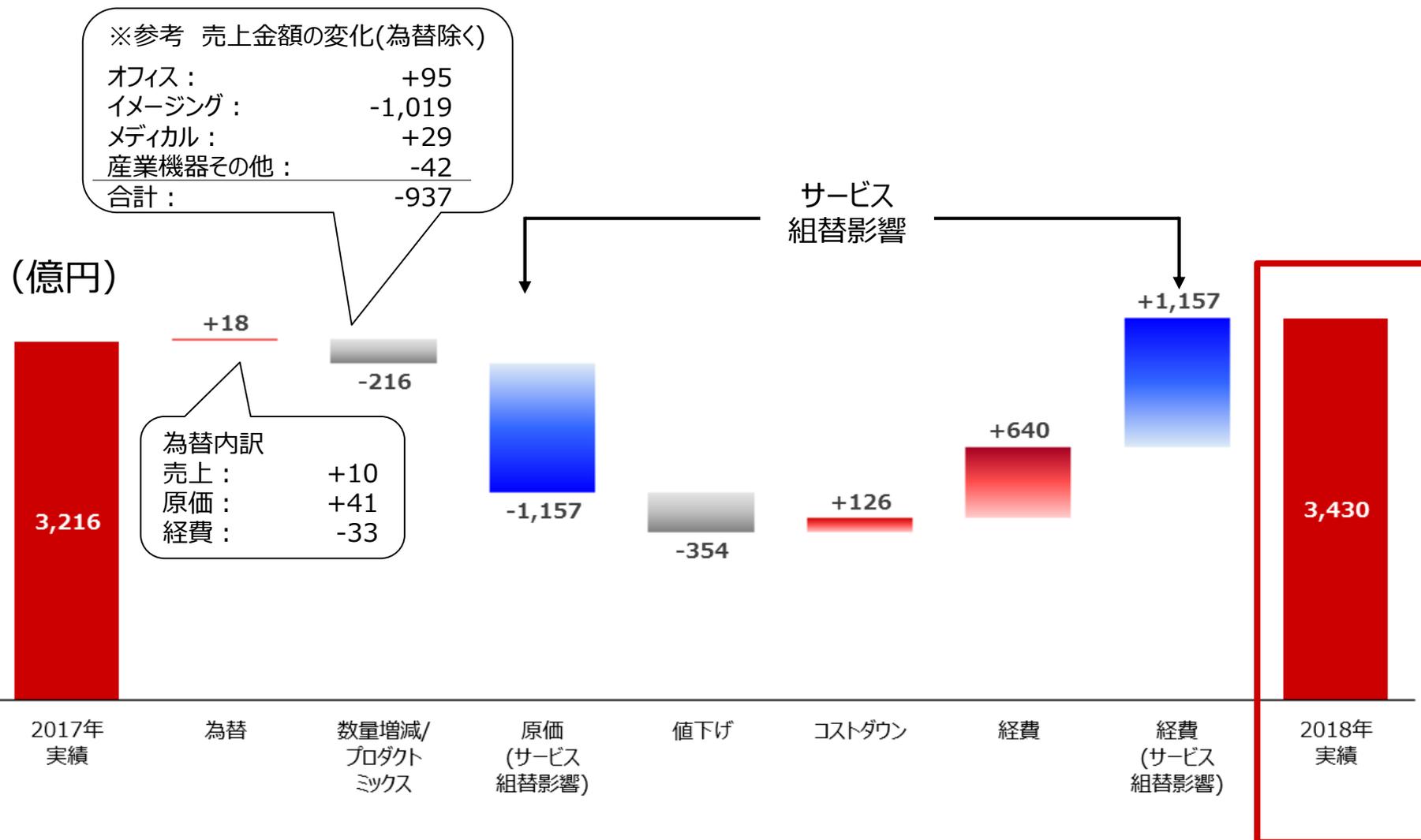
- 借入金の返済を進めながら手元資金は5,000億円を確保
- 設備投資は償却費の範囲内

(億円)	2019年 見通し	2018年 実績	2017年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	5,950	3,653	5,905
投資活動によるキャッシュフロー	-2,900	-1,956	-1,650
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>3,050</b>	<b>1,697</b>	<b>4,255</b>
財務活動によるキャッシュフロー	-3,200	-3,549	-3,404
為替変動影響	-56	-160	65
現預金の純増減額	-206	-2,012	916
<b>現預金の期末残高</b>	<b>5,000</b>	<b>5,206</b>	<b>7,218</b>
<b>手元回転月数 (※)</b>	<b>1.5</b>	<b>1.6</b>	<b>2.0</b>
設備投資	1,750	1,593	1,475
償却費	2,400	2,516	2,619

(※)2019年は年間売上高で算出。2018年および2017年は下期売上高で算出

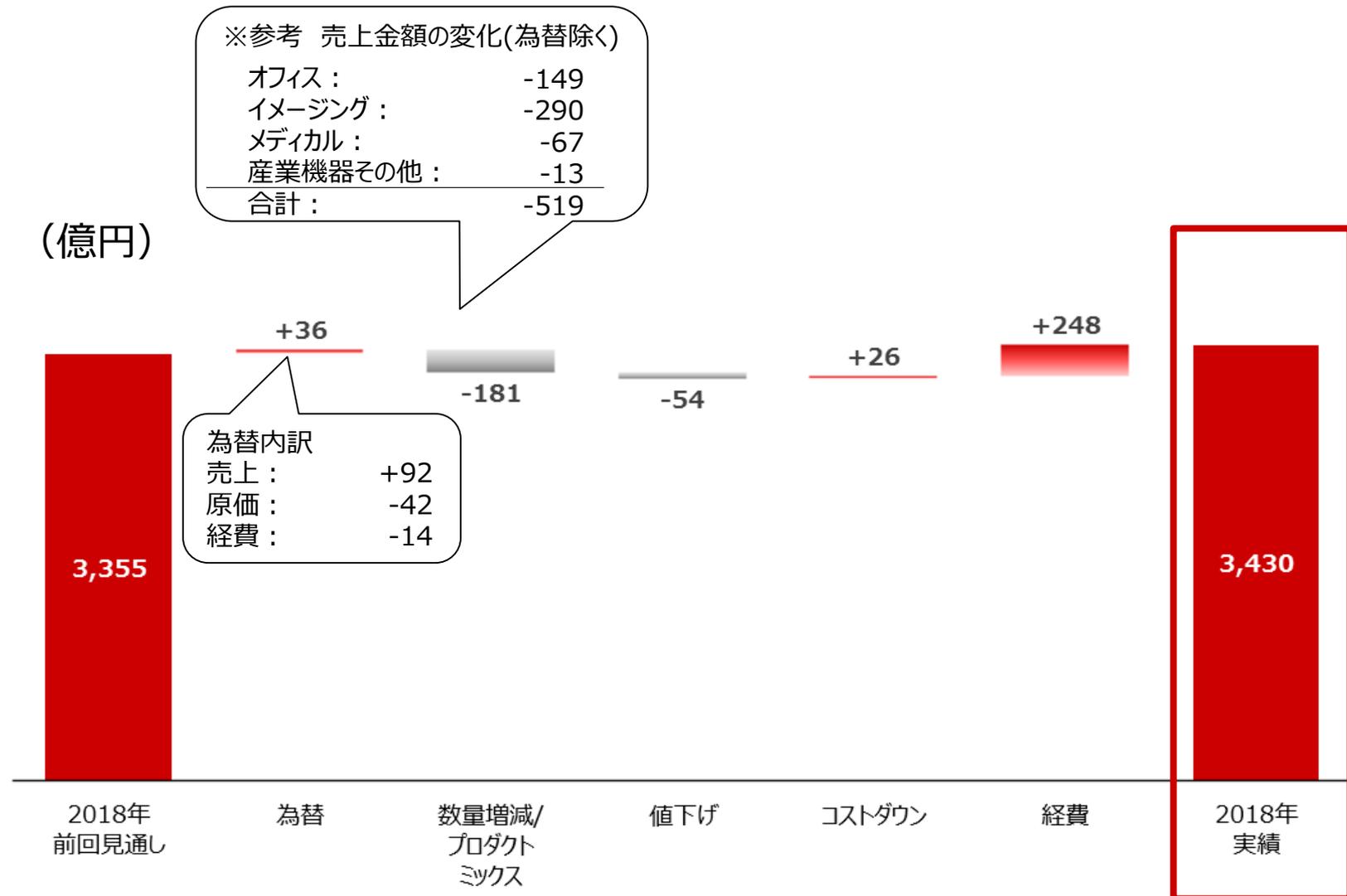
# 參考資料

# 営業利益分析(2018年 年間)対前年



※ 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 営業利益分析(2018年 年間)対前回



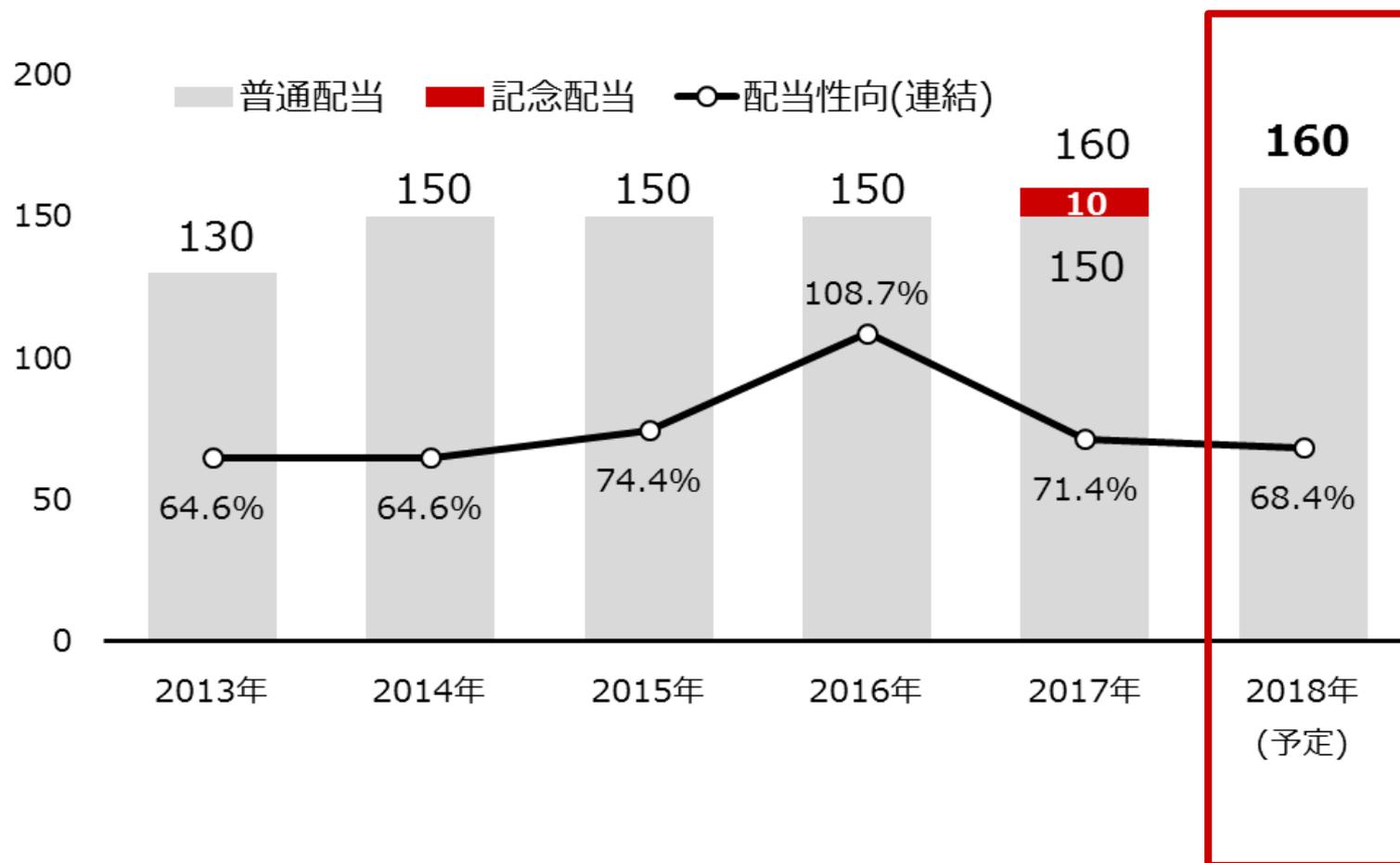
# 年金会計 基準変更影響

- 総利益/経費と営業外損益の組替え (年間影響額:99億円)
- 税引前利益、純利益に影響なし

(億円)	年金会計 基準変更前					→	年金会計 基準変更後				
	2017年 1Q実績	2017年 2Q実績	2017年 3Q実績	2017年 4Q実績	2017年 年間実績		2017年 1Q実績	2017年 2Q実績	2017年 3Q実績	2017年 4Q実績	2017年 年間実績
売上高	9,728	9,925	9,945	11,202	40,800		9,728	9,925	9,945	11,202	40,800
売上総利益 (売上総利益率)	4,683 48.1%	4,956 49.9%	4,822 48.5%	5,466 48.8%	19,927 48.8%		4,678 48.1%	4,950 49.9%	4,817 48.4%	5,461 48.7%	19,906 48.8%
経費	3,926	3,993	4,017	4,676	16,612		3,946	4,012	4,037	4,695	16,690
営業利益 (営業利益率)	757 7.8%	963 9.7%	805 8.1%	790 7.1%	3,315 8.1%		732 7.5%	938 9.5%	780 7.8%	766 6.8%	3,216 7.9%
営業外損益	23	33	73	95	224		48	58	98	119	323
税引前利益	780	996	878	885	3,539		780	996	878	885	3,539
純利益 (純利益率)	551 5.7%	692 7.0%	631 6.3%	545 4.9%	2,419 5.9%		551 5.7%	692 7.0%	631 6.3%	545 4.9%	2,419 5.9%

# 配当の推移

(円)



## ■ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

		2019年	2018年		2017年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
<b>複合機</b>						
円貨	ハード	+1%	-1%	-1%	+3%	+2%
	ノンハード	-3%	-6%	-1%	+8%	+3%
LC	ハード	+5%	0%	-2%	-3%	-2%
	ノンハード	0%	-5%	-2%	+2%	+1%
<b>LP</b>						
円貨	ハード	-6%	+4%	+1%	-2%	+6%
	ノンハード	-6%	-3%	-1%	-3%	+6%
LC	ハード	-2%	+5%	+1%	-5%	+3%
	ノンハード	-3%	-3%	-1%	-4%	+3%
<b>インクジェット</b>						
円貨	ハード	+5%	-8%	-3%	+13%	+11%
	ノンハード	-5%	-6%	-5%	-1%	-2%
LC	ハード	+9%	-7%	-3%	+7%	+8%
	ノンハード	-2%	-5%	-5%	-6%	-5%

## ■ カラー比率

		2019年	2018年		2017年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
複合機	売上高	60%	60%	59%	59%	58%
	台数	59%	58%	58%	58%	55%
LP	売上高	52%	51%	51%	52%	52%
	台数	19%	19%	18%	20%	18%

## ■ 複合機 モノクロ/カラー別 対前年売上伸び率

		2019年	2018年		2017年	
		年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
円貨	モノクロ	-4%	-6%	-3%	+4%	-1%
	カラー	0%	-3%	0%	+7%	+5%
LC	モノクロ	-1%	-4%	-3%	-1%	-3%
	カラー	+4%	-1%	-1%	+1%	+2%

## ■ レンズ交換式カメラ比率

	2019年	2018年		2017年	
	年間 見通し	4Q 実績	年間 実績	4Q 実績	年間 実績
金額ベース	86%	85%	85%	85%	85%
台数ベース	64%	60%	61%	60%	58%

※金額ベースには交換レンズも含む

## ■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

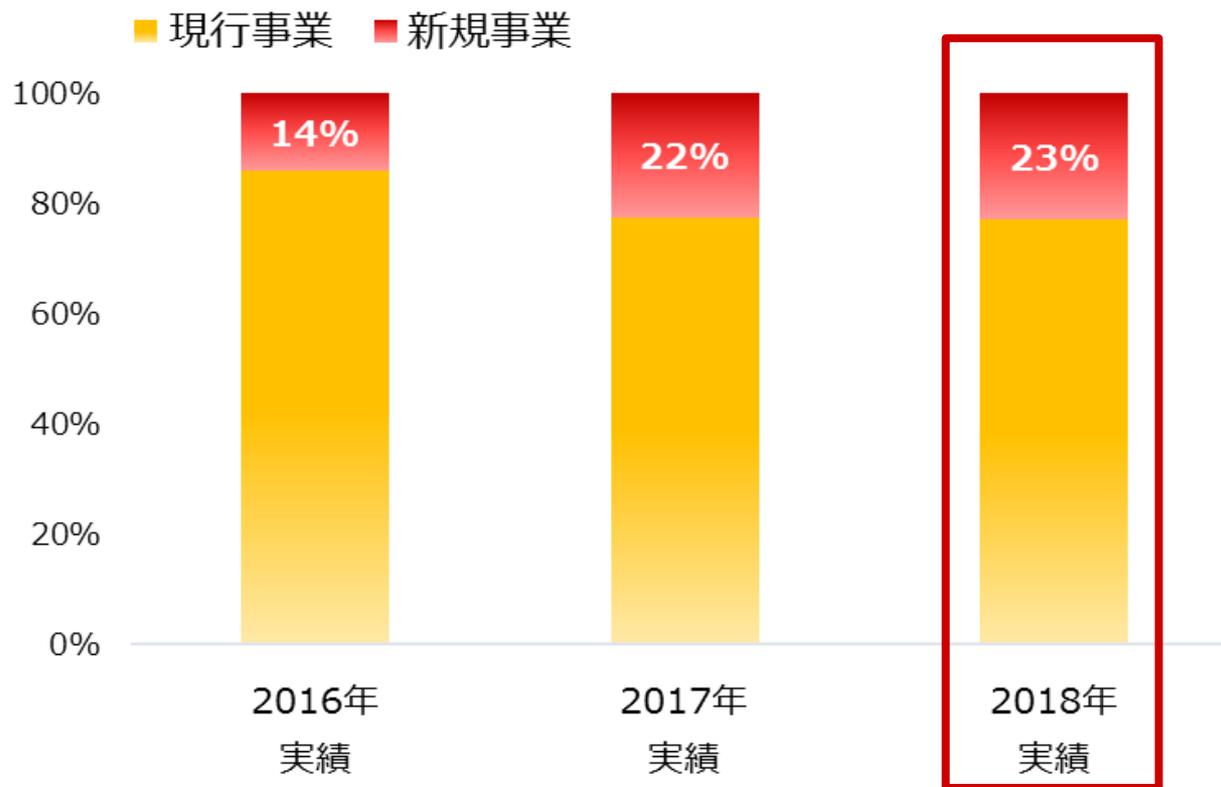
(単位：台)

	2019年	2018年		2017年	
	年間 見通し	4Q 実績	年間 見通し	4Q 実績	年間 実績
KrF	39	7	32	10	24
i線	82	23	82	15	46
合計	121	30	114	25	70

# 新規事業構成比の変化

- 有機EL蒸着装置が減少も、売上構成比は上昇
- ポートフォリオの転換が着実に前進

## <売上構成比の推移>



※ 商業印刷に含まれていたオフィスのアウトソーシング事業を、新規事業から現行事業に2017年にも遡及して組替えています

**2018年 4Q**

# 全社PL (2018年4Q)

(億円)	2018年			2017年			組替前比較	
	4Q実績	サービス 組替影響	年金 組替影響	4Q実績 (組替前)	4Q実績	年金 組替影響	4Q実績 (組替前)	対前年
売上高	10,583	0	0	10,583	11,203	0	11,203	-5.5%
売上総利益 (売上総利益率)	4,893 46.2%	-295	-7	5,195 49.1%	5,460 48.7%	-6	5,466 48.8%	-5.0%
経費	3,897	+295	-33	4,159	4,694	-18	4,676	
営業利益 (営業利益率)	996 9.4%	0	-40	1,036 9.8%	766 6.8%	-24	790 7.1%	+31.1%
営業外損益	4	0	+40	-36	119	+24	95	
税引前利益	1,000	0	0	1,000	885	0	885	+12.9%
純利益 (純利益率)	717 6.8%	0	0	717 6.8%	546 4.9%	0	546 4.9%	+31.3%
USD	112.89			112.89	112.96		112.96	
EURO	128.74			128.74	132.98		132.98	

※1 2018年はサービス収入の原価と経費の組替えを行っています

※2 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# 事業セグメント別PL (2018年4Q)

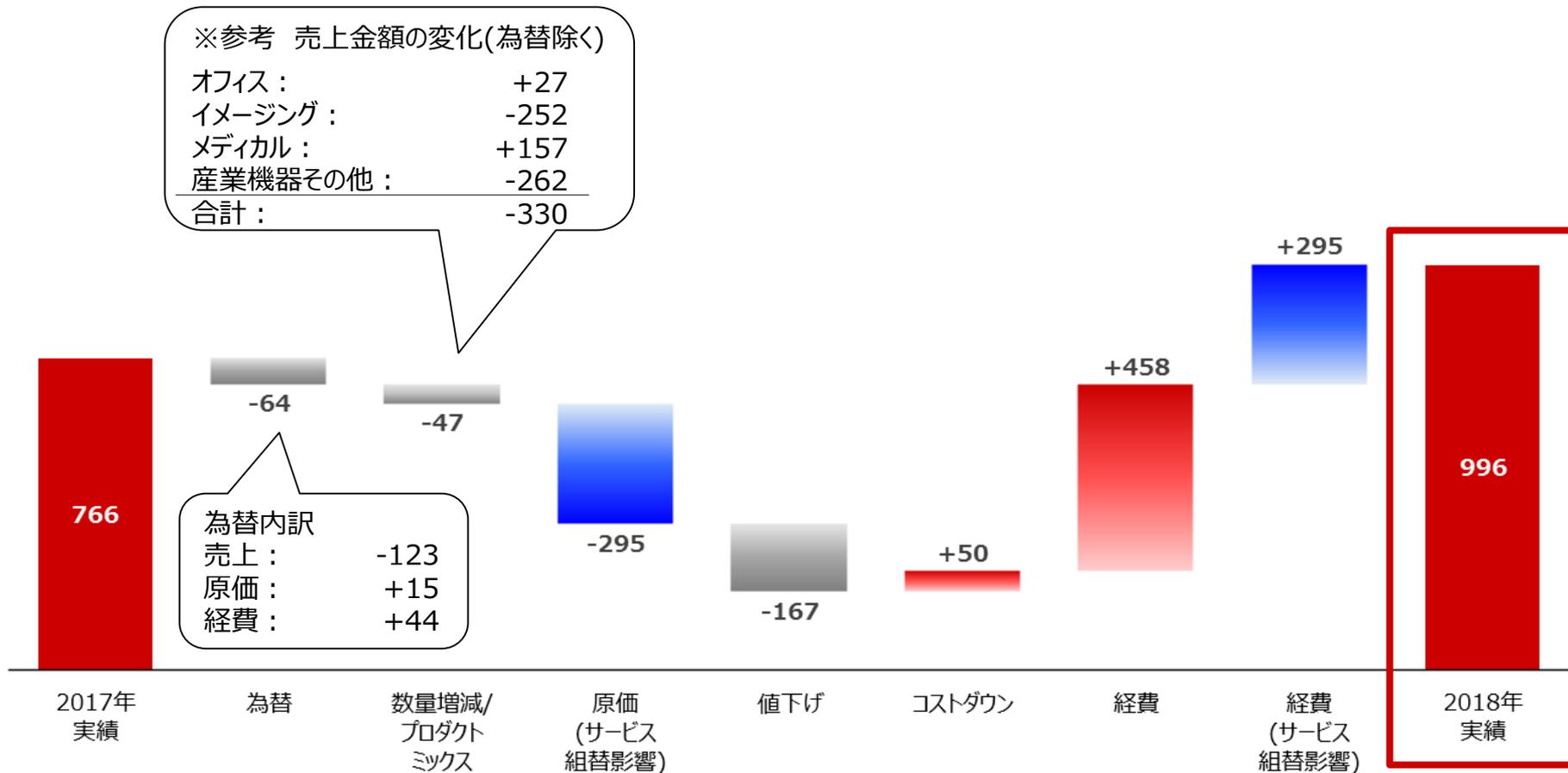
(億円)		2018年 4Q実績	2017年 4Q実績	対前年
オフィス	売上高	4,716	4,773	-1.2%
	営業利益	607	381	+59.2%
イメージング システム	売上高	2,975	3,409	-12.7%
	営業利益	397	585	-32.2%
メディカル システム	売上高	1,182	1,037	+14.0%
	営業利益	88	48	+83.1%
産業機器 その他	売上高	1,981	2,211	-10.4%
	営業利益	116	34	+244.7%
全社消去	売上高	-271	-227	-
	営業利益	-212	-282	-
連結合計	売上高	10,583	11,203	-5.5%
	営業利益	996	766	+30.0%

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィスのアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています  
(2017年実績：売上 159億円、営業利益 -123億円)

# 営業利益分析 (2018年4Q) 対前年

(億円)



※ 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

# オフィス/イメージングシステム (2018年4Q)

## オフィス

(億円)

	4Q		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年
複合機	1,813	1,884	-3.8%
LP	1,773	1,781	-0.5%
その他	1,130	1,108	+2.0%
<b>売上高計</b>	<b>4,716</b>	<b>4,773</b>	-1.2%
<b>営業利益</b>	<b>607</b>	<b>381</b>	+59.2%
%	12.9%	8.0%	

### ■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2018年 4Q実績
複合機	-2.4%
LP	-0.1%
その他	+3.4%
合計	-0.2%

### ■ 台数伸び率

複合機	2018年 4Q実績	LP	2018年 4Q実績
モノクロ	+4%	モノクロ	+5%
カラー	+4%	カラー	-5%
合計	+4%	合計	+3%

## イメージングシステム

(億円)

	4Q		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年
カメラ	1,760	2,077	-15.3%
インクジェット	973	1,042	-6.7%
その他	243	290	-16.5%
<b>売上高計</b>	<b>2,975</b>	<b>3,409</b>	-12.7%
<b>営業利益</b>	<b>397</b>	<b>585</b>	-32.2%
%	13.3%	17.2%	

### ■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2018年 4Q実績
カメラ	-13.7%
インクジェット	-5.3%
合計	-11.3%

### ■ 台数伸び率(台数単位：万台)

	2018年4Q実績	
	台数	伸び率
レンズ交換式	155	-9%
コンパクト	102	-9%
	2018年 4Q実績	
インクジェット	-10%	

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています

# メディカル/産業機器その他 (2018年4Q)

## メディカルシステム

(億円)

	4Q		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年
売上高計	1,182	1,037	+14.0%
営業利益	88	48	+83.1%
%	7.5%	4.6%	

### ■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2018年 4Q実績
合計	+15.2%

## 産業機器その他

(億円)

	4Q		
	2018年 実績	2017年 実績	対前年
露光装置	489	546	-10.6%
その他	1,492	1,665	-10.3%
売上高計	1,981	2,211	-10.4%
営業利益	116	34	+244.7%
%	5.9%	1.5%	

### ■ 対前年売上伸び率 (現地通貨)

	2018年 4Q実績
露光装置	-10.4%
その他	-9.7%
合計	-9.9%

### ■ 露光装置台数(単位：台)

	2017年 4Q実績	2018年 4Q実績
半導体	25	30
FPD	21	17

※1 2018年の年金基準変更影響に伴い、営業利益と営業外で組替えを行っており、2017年にも遡及して反映させています

※2 ビジネス形態の変化に伴い、オフィス「その他」のアウトソーシング事業を産業機器その他へ2017年にも遡及して組替えています